

去る 2019 年 9 月 9-10 日に北九州国際会議場で開催されました学術年会において下記の質問内容のアンケートを行い、20 名から回答を頂きました。有り難うございました。こちらについて、集計結果を纏めましたので御報告申し上げます。選択式の質問への回答、および 2.1)-①, 2.1)-③の回答についても要約し、これらをグラフ化して今回の ImmunoTox Letter に掲載し、記述式の質問に対する回答は一覧として別途掲載しました。それらの回答結果は学会ホームページの学術年会のページの第 26 回学術年会の欄に掲載いたしますので、ご欄になってください。

1. ご所属および年代について（該当する項目をまるで囲んでください）

企業 ・ 公的研究機関 ・ 大学(教職員) ・ 学生 ・ その他

20 歳代以下 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 ・ 50 歳以上

2. 日本免疫毒性学会学術大会について

1) 今回（第26回, 2019年）の学術大会について伺います。

① 興味をもたれた（おもしろかった、勉強になった等）セッションやテーマをあげてください。

② 発表時間はいかがでしたか？

発表時間および口頭とポスター発表の比率（バランス）について、いずれか1つに○を下さい。

・発表時間：< 長い or 短い or ちょうど良い >

・口頭とポスターの比率：< 口頭を更に多く or ポスターを更に多く or ちょうど良い >

③ その他ご感想等ありましたらお願いします。

2) 次回以降の学術大会について、今後取り上げてほしいテーマや、その他ご意見等ありましたらご記入ください。

（本学術大会で初年度参加者の学会費免除の制度を導入しました。また、若手セッション演題においては、口頭発表に加えてポスター発表も行う企画としましたが、その点についての意見等々についてもご教示いただけますと幸いです。）

3. 日本免疫毒性学会の今後の活動や方向性等について、ご意見やご提案等ありましたら、ご記入ください。

4. ImmunoTox Letter (6月と12月の年に2回発行している学会誌; 日本版と英語版があり、それぞれのpdf版を学会HPに掲載中) について、ご意見、ご提案等ありましたらご記入ください。

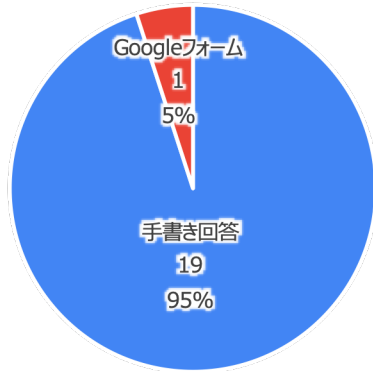
グラフの中で興味を持ったセッションやテーマについては、シンポジウム、試験法 WS, 一般演題など多様な回答があり、年会在一部においてのみではなく全体を通して興味深く感じられる内容であったことが分かります。また、発表時間や口頭・ポスター発表の比率についても多数が「ちょうど良い」と回答しており、発表形式においても参加者が広く満足していることが分かります。他方で、発表時間についての付記や感想欄へのコメントをみると学生・若手発表時間の短さへの指摘が多くあります。若手の参加や発表はどの学会においても奨励され、賞の設定などあらゆるインセンティブが検討されているなか、本学会における学生・若手発表時間について有るべき姿を考える上で重要な材料かもしれません。更には、若手同士でもっと議論・交流する機会があっても良いのでは、の声もあります。若手による若手のセッションも面白いかもしれません。また、ポスター発表についても、全員が2日間のコアタイムを有する必要性についての指摘が多くあり、この点も総括すべき点でしょう。他方で、初めての参加者からの好評も複数あり、学会の魅力を再認識できるところではないでしょうか。このようにアンケート回答数は昨年よりも少なかったわけですが、非常に内容の濃い声が幅広い年齢層から届けられており、今後の参考となる重要な情報であると感じます。2回目となったオンラインフォームによる回答は残念ながら1件

に止まりました。これについては、Google ID を不要とするなど、あるいは休憩時間のスライドに QR コードを映写する、など今後ともより利用への敷居を下げる工夫を図る必要性を感じます。ImmunoTox Letter への好評や、毒性学会へ紙媒体を配布してはどうか、などの声も有り、その重要性を再認識します。Letter に加えて、JIST の Facebookpage や Twitter アカウントを利用した広報も始まりました。紙、メール、web、SNS といったマルチメディア戦略で一層 JSIT を免疫毒性学研究の魅力とその成果を広報委員会と連携し発信していければと思います。

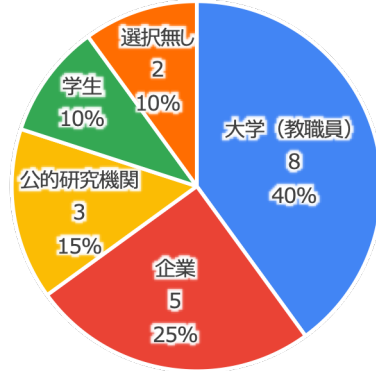
(YN)

第26回日本免疫毒性学会学術年会アンケート結果（選択式質問回答および2.1)-①, 2.1)-③の回答要約）

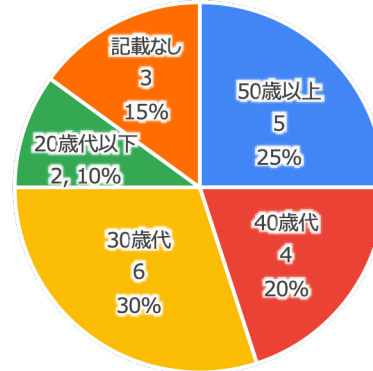
アンケート回収方法



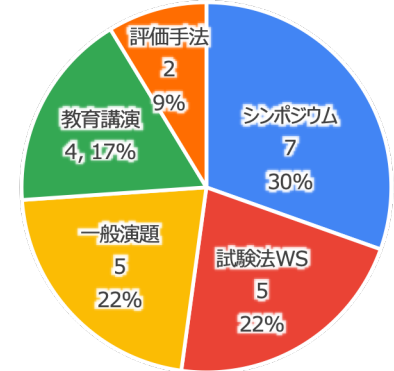
所属



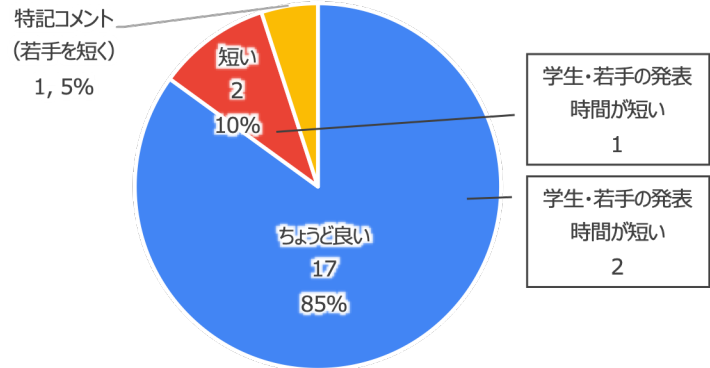
年代



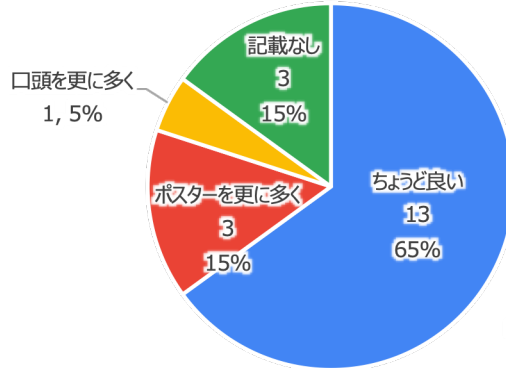
興味を持ったセッション/テーマ（要約）



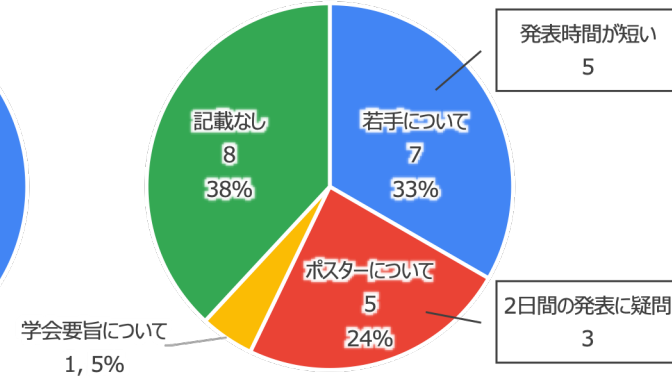
発表時間



口頭 vs ポスター比率



感想など（要約）



第26回日本免疫毒性学会学術年会アンケート結果, 記述式質問回答一覧

| 2. 1)-① 興味をもたれた (おもしろかった、勉強になった等) セッションやテーマをあげてください。 | | |
|--|----------|--|
| 50歳以上 | 公的研究機関 | AOP workshop |
| | 大学 (教職員) | 教育講演 2, シンポジウム |
| | 大学 (教職員) | 口演 |
| | 大学 (教職員) | 短・中鎖含有トリアシルグリセロールと皮膚炎 |
| 40歳代 | 企業 | 一般口演、ポスター発表、試験法ワークショップ |
| | 公的研究機関 | AOP |
| | 公的研究機関 | 一般演題, EL02 |
| | 大学 (教職員) | S1-S4 |
| 30歳代 | 企業 | シンポ2日目とWS |
| | 企業 | 免疫原性評価手法・戦略 |
| | 企業 | 抗体医薬品の評価法についての演題 |
| | 大学 (教職員) | ワークショップ, シンポジウム |
| | 記載無し | シンポジウムS1-S4, 実際に臨床の話しを知ることができたことが良かった。 |
| 20歳代以下 | 企業 | 一般演題 |
| 記載なし | 大学 (教職員) | EL-02, シンポジウム-04 |
| | 大学 (教職員) | 一般演題全般, 教育講演, シンポジウム |
| | 学生 | H4R |

2. 1)-③ その他ご感想等ありましたらお願いします。

| | | |
|--------|----------|--|
| 50歳以上 | 大学 (教職員) | 学会要旨が学会前にも参加登録者にも読めるようにしていただきたい。 |
| | 記載無し | 若手や異分野の研究者の参加を促すことはとても良いと思います。 |
| 40歳代 | 企業 | ポスター会場が、もう少し広いと嬉しいとおもいます。ポスター発表者もフラッシュトークの口演発表があってもいいかと思いました。 |
| | 公的研究機関 | ポスターのコアタイムは1日で良いと思います。また若手の発表は一般と同様の時間にした方が良いと思います。 |
| 30歳代 | 企業 | 若手の部の発表時間、質疑が短すぎて十分議論することができないように思いました。 |
| | 大学 (教職員) | 一般演題の発表について、口頭とポスターの両方を準備した方が口頭発表後ポスターでdiscussionを深めることができるので両方を準備した (させた) 方が望ましいように思える。また、若手の口頭発表の質疑応答の時間をあと1分のばせれば良いのではと思いました。 |
| | 記載無し | ポスター発表を2日間行う必要があるか、少し疑問に思いました。 |
| 20歳代以下 | 企業 | ポスターを2日に分けるのであれば奇数・偶数等でコアタイムを分けて頂きたいです。 |
| | 学生 | 若手セッションで演題ポスター発表をさせて頂いた者です。ポスターセッションを2組に分ける等して若手同士で勉強し合う場がほしかったです。 |
| 記載なし | 大学 (教職員) | ポスターから口演に移るとき一言会場からのアナウンスが欲しい。 |
| | 大学 (教職員) | 演者数などの問題もありますが、若手の口頭発表時間にもう少し余裕があると良かったです。 |
| | 学生 | 学生口頭発表の時間が少ない。 |

2. 2) 次回以降の学術大会について、今後取り上げてほしいテーマや、その他ご意見等ありましたらご記入下さい。(本学術大会で初年度参加者の学会費免除の制度を導入しました。また、若手セッション演題においては、口頭発表に加えてポスター発表も行う企画としましたが、その点についての意見等々についてもご教示いただけますと幸いです。)

| | | |
|--------|---------|--|
| 50歳以上 | 記載なし | アレルギーや抗体医薬など免疫毒性の重要性は増していると思うので社会にもっと学会のことを知ってもらおう企画をしたらいかがでしょうか？ |
| 40歳代 | 企業 | レギュレーターに既に収載されている免疫毒性に関わる試験法の紹介をしてほしいです (ICH S8とは？、TG442, 429, 406とは？など) |
| 30歳代 | 企業 | ・取り上げて欲しいテーマ：新しいモダリティ（核酸）や抗体薬の毒性評価法 ・要旨集、プログラムの配布共有をもっと早くしていただきたいです。 |
| | 大学（教職員） | 事前参加登録のめ切をもう少し遅らせてほしい。 |
| | 記載無し | 今回のように新しいテーマ（AOP wiki）などについて含まれていると勉強になります。 |
| 20歳代以下 | 企業 | ポスターや発表資料の作成規定や発表時間はもっと早くお知らせ頂けると助かります。 |
| | 学生 | 若手セッションは様々なお話を口頭発表だけでなくポスターでじっくりお話をできたのがとても良いと思えました。臨床と基礎がお互いに良い影響を受ける良い学会だと感じました。 |
| 記載なし | 大学（教職員） | ・初年度参加者ですが、学生（特に学部生）会員の会費・参加費を減額すると良いと思います。 ・若手セッションでの口頭&ポスター発表は良いと思います。 |
| | 学生 | 神経毒性 |

3. 3. 日本免疫毒性学会の今後の活動や方向性等について、ご意見やご提案等ありましたら、ご記入ください。

| | | |
|--------|---------|---|
| 40歳代 | 企業 | 本学会の素晴らしいところは、何でも相談したり聞いたりできることだと思うので、日常的にそのような議論ができるフォーム（掲示板とか）があると、私のような初心者が聞くことができ、ありがたいと思います。 |
| 30歳代 | 大学（教職員） | クロークがあるとありがたいです。 |
| 20歳代以下 | 学生 | 初めて参加させて頂きましたが、とても勉強になる演題ばかりでした。実験機器のコーナーの方々もポスター等用意して頂けるとありがたいと感じました。 |
| 記載なし | 大学（教職員） | 事前登録期間をもう少し延長して欲しい。 |
| | 大学（教職員） | 今回はじめて参加させて頂きました。コンパクトで参加者どうしの距離が近いことがこの学会の特徴と感じました。 |

4. ImmunoTox Letter (6月と12月の年に2回発行している学会誌；日本版と英語版があり、それぞれのpdf版を学会HPに掲載中) について、ご意見、ご提案等ありましたらご記入ください。

| | | |
|------|---------|------------------------------|
| 40歳代 | 企業 | 毒性学会で紙版を配布してもいいかなと思います。 |
| 30歳代 | 大学（教職員） | 編集作業が大変だと思いますが、毎号楽しみにしております。 |